



江別ユネスコ協会事務局だより 2017年12月11日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:大友☎381-1069)

「第74回日本ユネスコ運動全国大会 in 函館」にご参加ください

「事務局だより 2017年4月30日号」の記事で予告されたとおり、2018年の「第74回日本ユネスコ運動全国大会」は、7月7～8日に函館市芸術ホールにおいて、函館ユネスコ協会の主管により開催されます。大会テーマは「広げよう平和・共生のこころ、～北の大地から次世代へ～」です。

北海道ユネスコ連絡協議会では「第74回全国大会運営委員会」を組織し、当協会からは押谷会長（道ユ協理事）と田村副会長（道ユ協常任理事）が運営委員を委嘱されました。詳細な大会開催要項は12月中に各協会へ送付される予定で、当事務局では速やかに内容を会員にお知らせします。多数の会員のご参加をお願いします。会員の参加申込みは各協会ごとに取りまとめ、申込みの開始は4月中旬になる見通しです。盛夏の函館の街は、縄文遺跡群の世界遺産登録をめざして一段と整備され、函館山からの夜景など観光面でも改善されています。皆様、ふるってご参加ください。

なお、基調講演の講師が石森秀三氏（北海道博物館館長）に変更されました。

「上野三碑」と「朝鮮通信使の記録」が「世界の記憶」に登録！

ユネスコは10月31日、重要な歴史文書や映像フィルムなどを認定する事業「世界の記憶（俗称：記憶遺産）」の新規登録リストを公表しました。日本政府が推薦した「上野三碑（こうずけさんび）」と「杉原リスト」のうち「上野三碑」が登録され、日本と韓国の民間団体・地方自治体が共同で推薦した「朝鮮通信使に関する記録」も登録が決まりました。「上野三碑」は群馬県にある山上碑・多胡碑・金井沢碑の総称で、漢字や仏教が渡来人によって東日本へ伝来したことを示す遺産です。

朝鮮通信使は朝鮮国王が徳川将軍家に派遣した外交使節団で、対馬・江戸を経て日光東照宮までの経路には重要な外交文書、供応記録、行列の絵、筆談による交流記録等が各地に残っています。

なお、日中韓を含む8つの国と地域の民間団体などが共同申請した「日本軍「慰安婦」の声」は、登録可否の判断が延期されました。（日本関連の登録件数は7つになりました。）

2018年度の北海道ユネスコ大会は、札幌市で開催されます

来年の「第51回北海道ユネスコ大会」は、10月に札幌市で開催される見込みです。全国大会が7月に函館市で開催されるため、全道大会は若干規模を縮小して実施されます。隣接する当協会はこの開催に協力し、多数の会員が出席することを要請されています。よろしくをお願いします。

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いします。

2018年版「日本的絵入りカレンダー」を寄贈してください

当協会では「カレンダーの国際交換」活動を実施しています。日本の生活文化を外国の方に理解して頂く方法のひとつです。日本の風景・花鳥・行事など日本らしい絵が描かれたカレンダーが人気で、文字だけのものは不評です。1本でも結構です。ぜひ当協会の事務局までお届けください。

